

生涯学習計画の具体的内容

(1) 生涯学習情報の提供方法の見直しと充実

- 教育委員会のホームページの開設
- 生涯学習メニューのメール配信

(2) 教養・文化・健康・福祉等の講座の充実

- みほ文化講座
- 陸平学園
- 美浦大学
- 文化祭
- 自然観察会
- 映画鑑賞会
- パソコン講習会
- 認知症サポーター養成講座
- 骨粗しょう症予防教室
- 読み聞かせ・読み合い講座
- ホームヘルパー 3 級資格取得講座
- 美浦ゼミナール



(3) 生涯スポーツ・レクリエーション活動の充実

- 各種スポーツ大会
- ふれあいハイキング
- いきいき・ふれあい体操教室

(4) 子育て・青少年育成のための講座と活動の充実

- ジュニア・アカデミー
- ユース・リーダーの育成
- 親子ふれあいミーティング
- 少年のつばさ
- 芸術鑑賞会



(5) 家庭学習講座の充実

- いきいきミセス講座
- あったか家庭塾
- 親子食育教室
- にこにこイクメン講座
- ファミリー・サポート・ネットワークづくり

(6) 学校教育支援の充実と機会の増加

- 学校支援ボランティア育成講座
- ノーテレビ・ノーゲーム運動の推進
- 地域安全パトロールの実施
- 適応指導教室の充実
- 中学校での土曜授業及び夜間授業の開設

(7) ボランティア・協働・社会参加の推進・強化

- NPO 団体の育成
- ボランティア育成講座
- 村民協働ガイドブックの作成と活用
- グリーンツーリズム推進講座
- 地域おこし指導員養成講座

(8) 文化財の保護・活用・発掘に関わる学習と活動の推進

- 陸平貝塚の発掘調査
- 文化財センターでの展示会
- 縄文文化講座
- 「市民遺跡」の指定と条例化
- 文化財協力員の育成講習

(9) 地域課題解決のための講座と協働の推進

- まちづくり出前講座
- 花いっぱい運動
- 地域課題解決講座
- ふるさと発見講座
- 若者むらおこし講座
- 村民と行政の協働活動
- 全村公園化運動

(10) 住民全員参加事業の充実

- 産業文化フェスティバル
- 陸平縄文まつり
- 木原城山まつり
- 村民体育祭



美浦村生涯学習推進計画

(概要版)

— 美浦ライネル・プラン (2012 ~ 2021) —

平成24年4月



美浦村

美浦村教育委員会

美浦村の新しい生涯学習推進計画について



美浦村長 中島 栄

美浦村の生涯学習推進計画を新しく作りかえる作業に取り掛かるうとしていた矢先の平成23年3月11日に東日本大震災がありました。1000年に1度という巨大な地震と、それに伴う大きな津波によって受けた災害は甚大なものでした。それに加え、福島第1原発が破壊され爆発事故を起こし、かなりの量の放射線が漏れ、地元住民の多くが他市町村への移住を強いられることになりました。

このような事態は、私たちに改めて、家族の「絆」や地域住民の「つながり」や助け合いの大切さに気付かせてくれました。家族のみならず、同じ地域に住む人同士がよき人間関係を築き、互いに支え合い、助け合うことが大切だということです。

美浦村では、23年度から新しい教育プランをつくり、「人が人をつながり社会をつくる」社会力をつけることを教育の根幹に据え、「0歳から90歳までの社会力育て」を実行することにしました。新しく作ったこの「生涯学習推進計画」もこの考えを基本にしています。村のすべての人たちが、この計画の精神を理解し、さらなる学習に励み、「社会力」を高め、村の発展に力を尽くしてくれるよう期待しております。

新しい生涯学習推進計画の策定に当たって

美浦村教育長 門脇厚司

国の借金の総額が1000兆円にも上り、国の財政も地方自治体の財政も逼迫度を増してきている今日、政府は地域主権の方向に舵を切りつつあります。地域主権とは、要するに、どこの自治体もどのような行政サービスを実現し、どのような地域（まちやむら）にするかを、自分たちで決め、自分たちで決めたことは自分たちの責任と努力で実行していくということです。

このような時代に、美浦村が住民の生活や福祉の水準を下げることなく、村の活力を維持し安心安全な暮らしをしていくためには、行政の力だけではとうてい足りません。足りない部分は住民の自主的かつ自発的な協力で補わなければなりませんし、行政との協働が必要になります。そのため、村民一人ひとりが、互いに教え合い学び合って学習を重ねることで自らの能力を高め、学ぶことで身に付けた知識や技術をフルに発揮し、村の発展のために喜んで力を尽くしてくれるようになることがなにより大事なことになります。

村の誰もがそのように考え実行してくれたら、美浦村の未来は必ずや明るいものになると確信します。

新しい生涯学習推進計画（美浦ライネル・プラン）の概要

※生涯学習とは、わかりやすくいえば、学校を卒業し、大人になって、仕事をするようになって、結婚して子どもを育てるようになって、そして定年で仕事をやめ、子どもたちも独立し離れていき、老後の生活に入ってから、生きている間（Life Long）ずっと、好きなところで、好きなときに、好きなやり方で勉強し続けること（Learning）です。

※美浦村の新しい生涯学習推進計画を「美浦ライネル・プラン」と呼ぶことにしました。どうしてそういう呼び方にしたかといいますと、美浦村では、「自分の一生（Life）をみもり豊かにするために勉強する必要（Need）があるから、村を良くするために村民の誰もが学習する（Learning）必要があるから」という新しい意味で生涯学習を進めていきたいと考えたからです。ライネル（LiNeL）とは、Life Need Learningの頭文字を取って並べた言い方です。

※このような呼び方からもわかるように、美浦村の新しい生涯学習推進計画の基本的なねらいは次の3つになります。

1) これまでは、生涯学習というと、中央公民館で自分の好きな趣味を楽しむとか、美浦大学や文化講座に参加して個人的な教養を高めるといったことが中心でした。しかしこれからは、美浦村のよりよい発展に役に立つ行ないや活動をするために学習したり勉強したりすることを増やすことにします。

美浦村の生涯学習をこのような方向で進めていこうとしたのは、地域のことは地域住民の判断で決めて、自分たちで決めたことは自分たちで責任をもって実行することが求められる「地域主権の時代」になるからです。このような時代には、村民の誰もがしっかり勉強し、勉強したことを村のために役立てるようにしなければならないと考えたからです。

このような学習は「利他的な学習」の勧めとも言えますが、美浦村では誰かのため地域のために学習することを生涯学習の基本にしていきます。

2) 二つ目の特徴は、これまでは、学習するとか勉強するというと、講師の先生にお願いして「教えてもらうこと」が主でした。しかしこれからは、それぞれの地区にある地区公民館や田園都市センターなどを利用して自分たちで勉強会を開くなどして、「お互い勉強し合うこと」を増やしていくことにしたことです。美浦村の生涯学習は、「誰もが先生、誰もが生徒。どこでも学習、いつでも勉強」を他の市町村に先駆けて実現していきます。

3) 美浦村では、子どもたちの教育だけでなく、生涯学習もまた、美浦村の新しい教育プランに掲げた「0歳から90歳までの社会力育て」をベースに実行していくことになります。

東日本大震災以後、「絆」とか「つながり」が見直されていますが、「人が人をつながり社会をつくる力」である社会力を高めることがいっそう大事になっているからです。

